

じもと再発見
なばりじまん

城山城址

竜口城址
(百地丹波城址)

いざ、百地一族の城へ 忍びの道を行く

竜口の里にある忍者ゆかりの地をご存じですか。それが、伊賀流忍術の開祖・百地三太夫一族の山城跡です。広報なばり取材班は、地元を楽しむコミュニティ「ナバリズム」が主催した竜口城址・城山城址のトレッキングイベントに同行しました。皆さんも、この夏、歴史の地形が織りなす「忍びの道」を歩いてみませんか。

こちらも立ち寄ってみては—
織田軍との最終決戦地・柏原城跡



アクセス方法

天正9年(1581年)、織田信長の次男、信雄を総大将とする4万数千人の軍勢が伊賀に攻め込みました(第二次天正伊賀の乱)。織田軍はほどなく伊賀を制圧しますが、最後に、伊賀各地から集結した地侍や老若男女、総勢約1,600人が籠城したのが、赤目にある柏原城でした。

現在、柏原城跡は地域の人たちの手によって整備され、土塁などの見学ができるようになっています。



竜口城址・城山城址トレッキングコース

所要時間：2時間(1周約4km)
名張駅や市役所を結ぶ錦生緑線がトレッキングコース(今回歩いたのは赤線部分)
◎錦生市民センターでコースマップを配布しています



ほっとバス錦

急斜面に注意して
安全にトレッキング〜

広報担当者もイベントに
同行しました!



START

01 矢印看板に沿って登る

城跡への道筋を示す矢印看板が立っているの、初めて訪れる人も安心。看板を頼りに坂を上っていきましょう。



02 忍者の痕跡を発見!



階段を登り鳥居をくぐった先には、敵の不意を突く「武者隠し」という隠しスペースや、尾根を横切るように溝を深く掘ることで、攻め上がってくる敵を足止めする「堀切」などの遺構が小規模ながら確認できます。

03 山頂の城跡へ!

竜口城址、城山城址は200m程の尾根でつながっています。また、城山城址から北側に張り出した部分は見張り台で、村への侵入者をいち早く察知するために役立てられていました。



忍者を感じるトレッキングイベントを企画

私たちは「名張郷土かるた」の舞台を訪ね、名張の魅力を再発見する企画を進めています。この春は、忍者の里・竜口へ足を運びました。自分の足で登り、現地の空気を感じることで、「ここに本当に忍者がいたんだ!」という実感が胸に!同じ道を駆け抜けたであろう忍者に思いを馳せる、非常に貴重な時間となりました。

地元を楽しむコミュニティ
ナバリズム 代表 高倉 俊明 さん



ナバリズム

地域みんなで整備した「忍びの道」へぜひ!

令和4年の冬、荒れていた城跡を再生しようと、竜口城址・城山城址を含むトレッキングコースの整備作業が始まりました。作業には奈良県の室生龍口の人たちも参加。険しい山中での作業は決して楽ではありませんでしたが、重い道具を担ぎ合い、声を掛け合って木々を伐採する中で、地域の絆は自然と深まっていきました。

そして同年の春、県境を越えて続くコースや看板が完成。みんなの想いが詰まった「忍びの道」をぜひ一度歩いてみてください。



錦生市民センター
藤森 成高 さん

竜口城址(百地丹波城址) まで300m
城山城址 まで500m
見張台 まで750m
急傾斜